

リキッドコレクタ
排気圧利用形

AEP100-02



AL800
AL900
ALF
ALT
ALD
ALB
LMU
ALIP
AEP
HEP

省資源／省エネルギー／省力化

排気圧を利用して漏れた潤滑油や作動油を回収・再利用。

省資源／漏れた作動油・潤滑油を回収。

機械の周辺に漏れて溜った、高価な作動油や潤滑油を回収してムダを防止します。

省エネルギー／動力に排気圧を利用。

切換弁から大気に放出されるだけの排出空気を利用して回収を行いますから、省エネルギーを実現します。

省力化／回収作業の人手が不要

従来の人手による回収や手拭き作業がなくなり合理化されます。

仕様

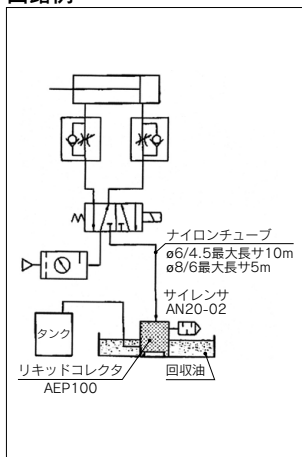
型式	AEP100-02
回収流体	作動油・潤滑油
使用流体	空気
使用圧力	200~700kPa(0.2~0.7MPa)
使用流体温度	5~60℃
回収流体温度	5~60℃
回収液吐出量	10mL/回(0.5MPaの時)
回収液揚程	8m(0.5MPaの時)
排気ポート有効断面積	21mm ² (Cv1.1)
管接続口径	3-PT1/4
ろ過度	40メッシュ(金網)
重量	0.8kg

AEP100-02

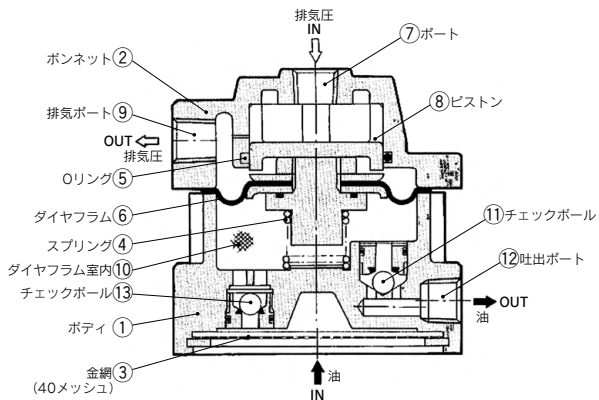
使用条件

シリンダ	チューブ内径	40mm以上
	ストローク	100mm以上
	使用ピストン速度	100mm/s以上
IN側のチューブ長さ	φ6/φ4	10m以下
	φ8/φ6	5m以下

回路例



作動原理図



切換弁からの排気圧が、ポート⑦に導入されピストン⑧およびダイヤフラム⑥はスプリング④を圧縮変位し、排気圧が排気ポート⑨より大気へ排出されると同時に、スプリングの復得力によりダイヤフラムは元に戻されます。この時、ダイヤフラム室内⑩が負圧となるため、チェックボール⑪が閉状態にかつチェックボール⑬が閉状態となり、外に漏った油がダイヤフラム室内に導入される。再び、排気圧が導入されるとピストンおよびダイヤフラムの作用により、ダイヤフラム室内が圧縮され、チェックボール⑪が閉状態となって、ダイヤフラム室内の油は吐出ポート⑫より吐出される。

主要部品

番号	部品名	材質	備考
1	ポティ	ADC12	クロメート処理
2	ボンネット	ADC12	クロメート処理
3	金網	SUS304	

パーツリスト

番号	部品名	材質	部品番号
4	スプリング	SUS304	180111
5	Oリング	NBR	KA00803
6	ダイヤフラムアセンブリ	—	180110A

取扱い上のご注意

取付

- ①取付姿勢は排気圧IN側を上にして取付けてください。傾けて取付るとチェック弁が誤動作することがあります。
- ②エアシリンダのスピード制御を必要としない排気ポート側を選択してください。
- ③AEP100の排気ポートには、サイレンサ(AN20-02)を取付け、外部からの塵埃の浸入を防いでください。

回収流体

- ①回収する流体はスピンドル油および、腐食性のあるものは避けてください。

使用时

- ①回収液の吐出がない場合には、OUTポートより呼水をしてください。(回収液を補給する。)
- ②金網の目詰りがひどくなると、吐出量が異常に減少してしまいます。金網を取外して洗浄してください。

外形寸法図

